

問1 岐阜県の県境付近にそびえる山々を水源とし、伊勢湾などの海へ注ぐ木曾三川（木曾川・長良川・揖斐川）などの河川について、その地理的な特徴を説明した文として正しいものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 上流部で深い渓谷を形成し、流路を大きく西に変えて隣接する県を通して海へ注ぐ
2. 山間部から直接東へ流れ、県境を越えることなく最短距離で太平洋へ注ぐ
3. 火山のある半島を迂回するように流れ、広大な平野で大規模な稲作を支える
4. 水源から河口まで一貫して緩やかな流れを保ち、大規模な水運の拠点となっている

問2 愛知県などで盛んに行われている、菊の「電照栽培」と呼ばれる栽培方法の仕組みとその目的について述べた説明として、最も適切なものを選んでください。（2026年 埼玉公立入試 類似）

1. 夜間に照明を当てることで人工的に日照時間を長く調節し、開花時期を遅らせることで出荷時期を調整する。
2. 夜間に照明を当てることで人工的に日照時間を短く調節し、開花時期を早めることで収穫回数を増やす。
3. 温室内の温度を照明の熱で上げること、冬場の冷害を防ぎながら露地栽培よりも早く成長させる。
4. 強い光を当てることで光合成を極限まで促進させ、通常の栽培よりも大きな花を短期間で育てる。

問3 中部地方の中でも日本海側に面する北陸地方の4県（新潟県、富山県、石川県、福井県）のうち、県庁所在地の名称が県名と一致せず、金沢市となっている県を選びなさい。（2018年 静岡公立入試 類似）

1. 石川県
2. 富山県
3. 福井県
4. 新潟県

問4 日本の都道府県別の工業出荷額の内訳において、パルプ・紙・紙加工品の割合が約4.9%を占めており、かつ輸送用機械器具の割合が約25.6%と極めて高くなっている都道府県はどこか。（2021年 京都公立入試 類似）

1. 静岡県
2. 北海道
3. 愛媛県
4. 愛知県

問5 中部地方に位置する長野県の農業について、2016年の農業産出額の品目別割合を示した資料に基づいた説明として、最も適切なものはどれですか。なお、この資料では群馬県、富山県、愛媛県と比較して長野県の特徴が示されています。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. 野菜の占める割合が非常に高く、次いで果実の割合も他県に比べて大きい。
2. 米の産出額が全体の半分以上を占めており、野菜の割合は極めて低い。
3. 畜産の産出額が最も大きな割合を占め、野菜の栽培はほとんど行われていない。
4. 麦類や豆類の産出額が中心であり、果実の割合は他県よりも低い。

問6 中部地方の中央部に位置する飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈は、標高3000m級の険しい山々が連なるその地形的特徴から、家屋の最も高い部分になぞらえて何と呼ばれていますか。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 日本の屋根
2. 日本の背骨
3. 日本海の大壁
4. 環太平洋造山帯

問7 北陸地方の各県の位置関係と交通網の整備について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。北陸新幹線のルートにおいて、石川県の金沢駅からさらに西側の日本海沿いに進んだ地点に位置し、2024年3月に新幹線の延伸区間が開業した県を選びなさい。（2016年 長野県公立入試 類似）

1. 福井県
2. 富山県
3. 新潟県
4. 滋賀県

問8 日本の茶の主産地では、4月上旬頃の気象条件に合わせて「防霜ファン」を稼働させることがあります。この設備が稼働する背景となる自然現象と、その仕組みについて説明した文として正しいものを選びなさい。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。
2. 春先に発生しやすい濃霧が日照を妨げるため、扇風機の風で霧を散らして茶の芽の成長を促進させる。
3. 梅雨時期の高温多湿な環境で発生する病原菌を抑えるため、風を送り続けて茶の葉の表面を乾燥させる。
4. 夏場の強い日差しによる土壌の乾燥を防ぐため、風を送ることで地中の水分を効率よく吸い上げさせる。

問9 中部地方の北陸各県における製造業の特色について述べた文として、正しいものはどれですか。統計上の製造品出荷額の内訳を説明した内容に基づき、適切なものを選びなさい。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。
2. 富山県では石油・石炭製品の割合が最も高く、福井県では電子部品の製造が中心となっている。
3. 福井県では印刷業が盛んに行われており、新潟県では輸送用機械の出荷額が最も多い。
4. 新潟県では化学工業が、富山県では繊維工業が、それぞれの県の製造品出荷額の半分以上を占めている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 上流部で深い渓谷を形成し、流路を大きく西に変えて隣接する県を通過して海へ注ぐ	岐阜県の主要な河川は、水源となる山地から流れる過程で、上流部では急峻な地形により渓谷を形成します。その後、地形の影響を受けて流路を西へと大きく変え、三重県などの隣接する県を貫通して海（伊勢湾）に注ぐという特徴的なルートをたどります。
問2	<b>答え 1</b> 夜間に照明を当てることで人工的に日照時間を長く調節し、開花時期を遅らせることで出荷時期を調整する。	菊は、日照時間が短くなると花芽をつくる「短日植物」という性質を持っています。電照栽培はこの性質を利用したもので、夜間に温室内で電球を点灯させて日照時間を人工的に長く保つことで、菊に「まだ開花の時期ではない」と判断させ、開花時期を意図的に遅らせます。これにより、正月や彼岸といった菊の需要が高まる時期に合わせて出荷することが可能になります。
問3	<b>答え 1</b> 石川県	北陸地方の各県のうち、新潟県は新潟市、富山県は富山市、福井県は福井市というように、石川県以外の3県は県名と県庁所在地名が一致しています。石川県だけは、加賀藩の城下町として発展した歴史を持つ金沢市が県庁所在地となっており、県名と名称が異なります。
問4	<b>答え 1</b> 静岡県	静岡県は、富士山の湧水を利用したパルプ・紙・紙加工品製造業と、自動車やオートバイなどの輸送用機械器具製造業のどちらも盛んなことが大きな特徴である。選択肢にある北海道や愛媛県も製紙業が盛んな地域として知られるが、輸送用機械の割合がこれほど高いシェアを占めるのは、オートバイ産業の発祥地や自動車工場の拠点をもち静岡県ならではの特色である。
問5	<b>答え 1</b> 野菜の占める割合が非常に高く、次いで果実の割合も他県に比べて大きい。	長野県は中央高地の冷涼な気候や水はけの良い傾斜地を活かし、レタスやキャベツなどの高原野菜、およびリンゴやブドウなどの果実の栽培が非常に盛んです。そのため、農業産出額の構成を見ると、米が中心の富山県や、畜産の割合が高い地域とは異なり、野菜と果実が大きな割合を占めているのが特徴です。
問6	<b>答え 1</b> 日本の屋根	本州のほぼ中央部に標高3000m級の高い山々が集中している様子が、家屋の屋根のように見えることから「日本の屋根」と称されます。これら3つの山脈は日本アルプスとも呼ばれ、日本の地形を象徴する険しい山岳地帯を形成しています。
問7	<b>答え 1</b> 福井県	北陸地方は東から順に新潟県、富山県、石川県、福井県の4県で構成されています。北陸新幹線は、2015年に長野駅から金沢駅（石川県）まで開業し、2024年3月にはさらに西側の福井県内（敦賀駅まで）が延伸開業しました。富山県や新潟県は石川県よりも東側に位置するため、金沢より西側に位置するという説明には当てはまりません。
問8	<b>答え 1</b> 晴れた夜間に発生しやすい放射冷却によって地表付近の温度が下がるため、上空の暖かい空気を循環させて凍結を防ぐ。	茶の産地において、春先の気温低下は「晩霜（ばんそう）被害」として恐れられています。特に雲のない晴れた夜間は放射冷却が強まり、地表付近の温度が氷点下近くまで下がることがあります。このとき、地上6～8メートル付近には地表よりも数度高い温度の空気層（逆転層）ができるため、防霜ファンでその暖かい空気を地表に送り込むことで、デリケートな新芽が凍りつくのを防いでいます。
問9	<b>答え 1</b> 新潟県では食料品や電子部品の割合が高く、富山県では化学工業や輸送用機械の割合が高い。	北陸地方は県ごとに発達している工業分野が異なります。新潟県では米どころとしての背景から食料品工業が発達しているほか、電子部品の製造も盛んです。富山県では、豊富な水資源と電力を背景に発展した薬品などの化学工業や、輸送用機械の割合が高いという特色があります。選択肢にある石油・石炭製品や印刷業は、この地域の主な特色とは言えません。